

プラスチックの未知なる可能性を追究し、様々な社会の課題に挑む。この姿勢を茶道や武道といった「道」を究める姿になぞらえ「樹脂道」と名付けました。

私の樹脂道



社会の課題に 대응するために お客さまと共に樹脂の新しい可能性を追求

他の材料と複合化することで、高強度化やさまざまな新機能を実現できる樹脂コンパウンド。樹脂本来の特性はそのままに、新しい機能や強度などを付加した複合成形材料は、幅広い産業分野で活躍し、優れた性能を発揮しています。例えば、軽量かつ高強度を実現する樹脂材料で作られた自動車部品。クルマの軽量化を実現し、燃費を向上させ、ひいては環境負荷の低減に役立っています。営業担当として、お客さまと共に問題解決を図るために常に情報収集に努め、最適な成形材料を、「提案」し提供し続けること、それが私の樹脂道です。

